

〔No. 1〕

食品ロスについて，我が国における解決すべき課題を抽出し，それに対してデザインがどのような役割を果たすことができると考えられるか，下記の参考資料を参照し，プロダクトとサービスの実例や想定される事例を具体的に挙げながら論じなさい。

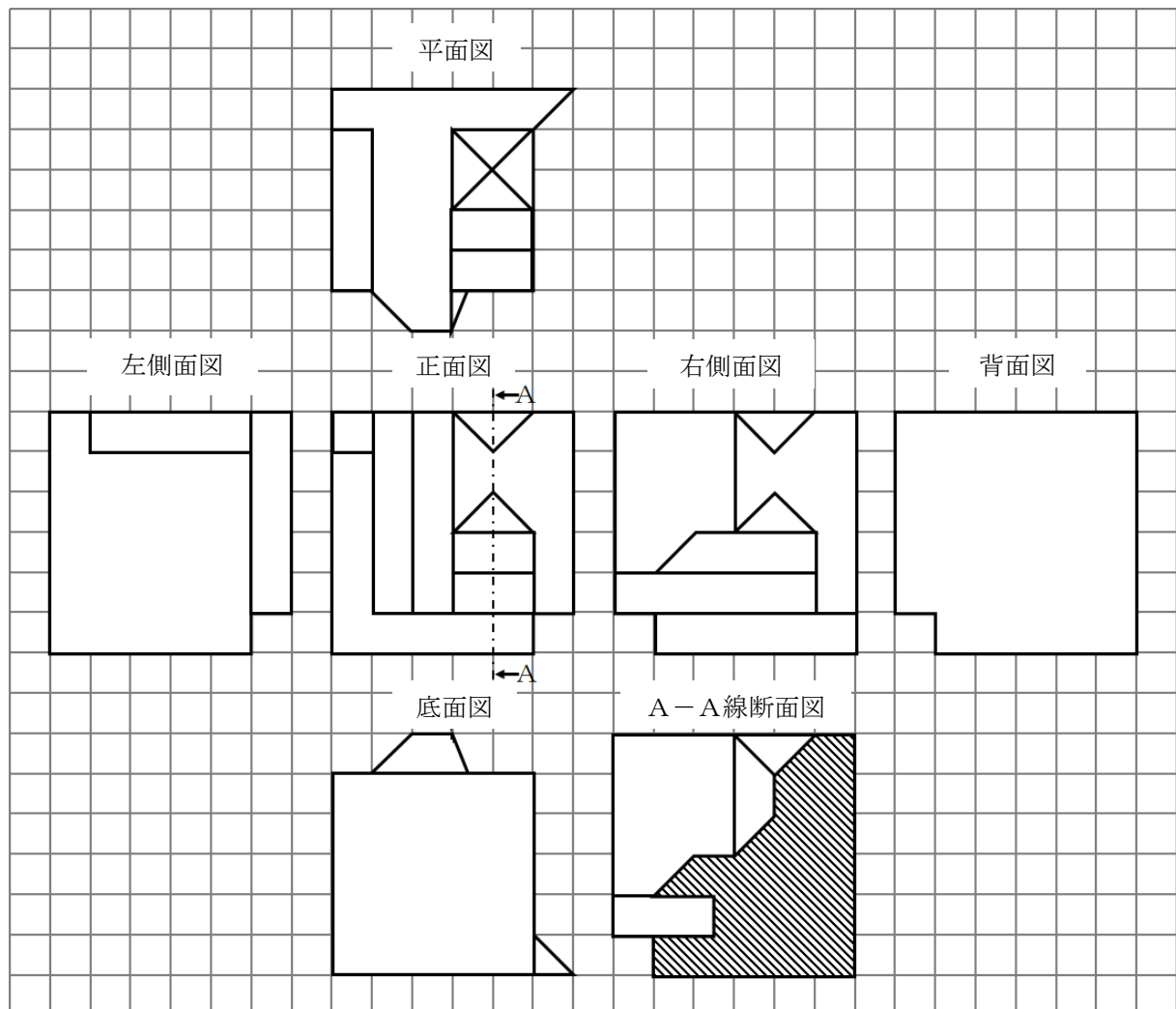
参考資料

著作権未処理のため、公開できません。

〔No. 2〕

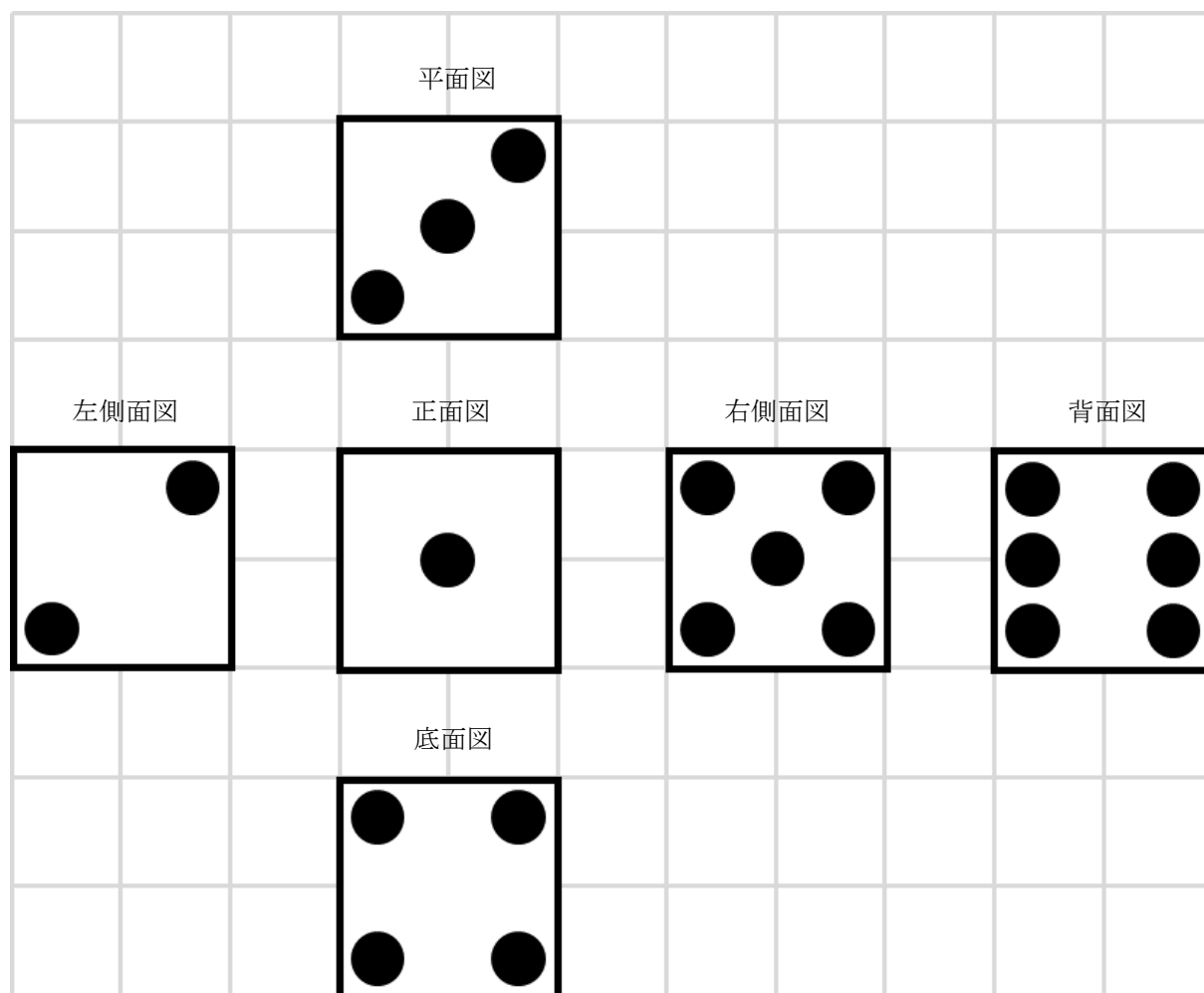
図のような六面図及びA－A線断面図によって表される立体の「正面，平面及び右側面を表す斜視図」を，（例）に倣い，斜投影図法を用いて作成しなさい。

なお，各図の実線は立体の稜線を表し，この立体には模様及び曲面はないものとする。

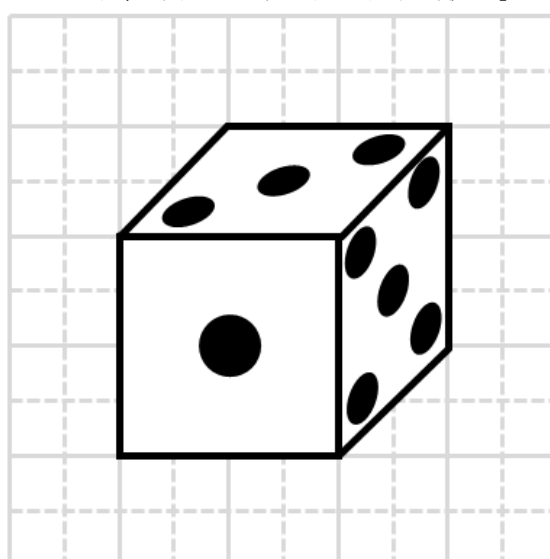


〔No. 2〕

(例)



「正面，平面及び右側面を表す斜視図」

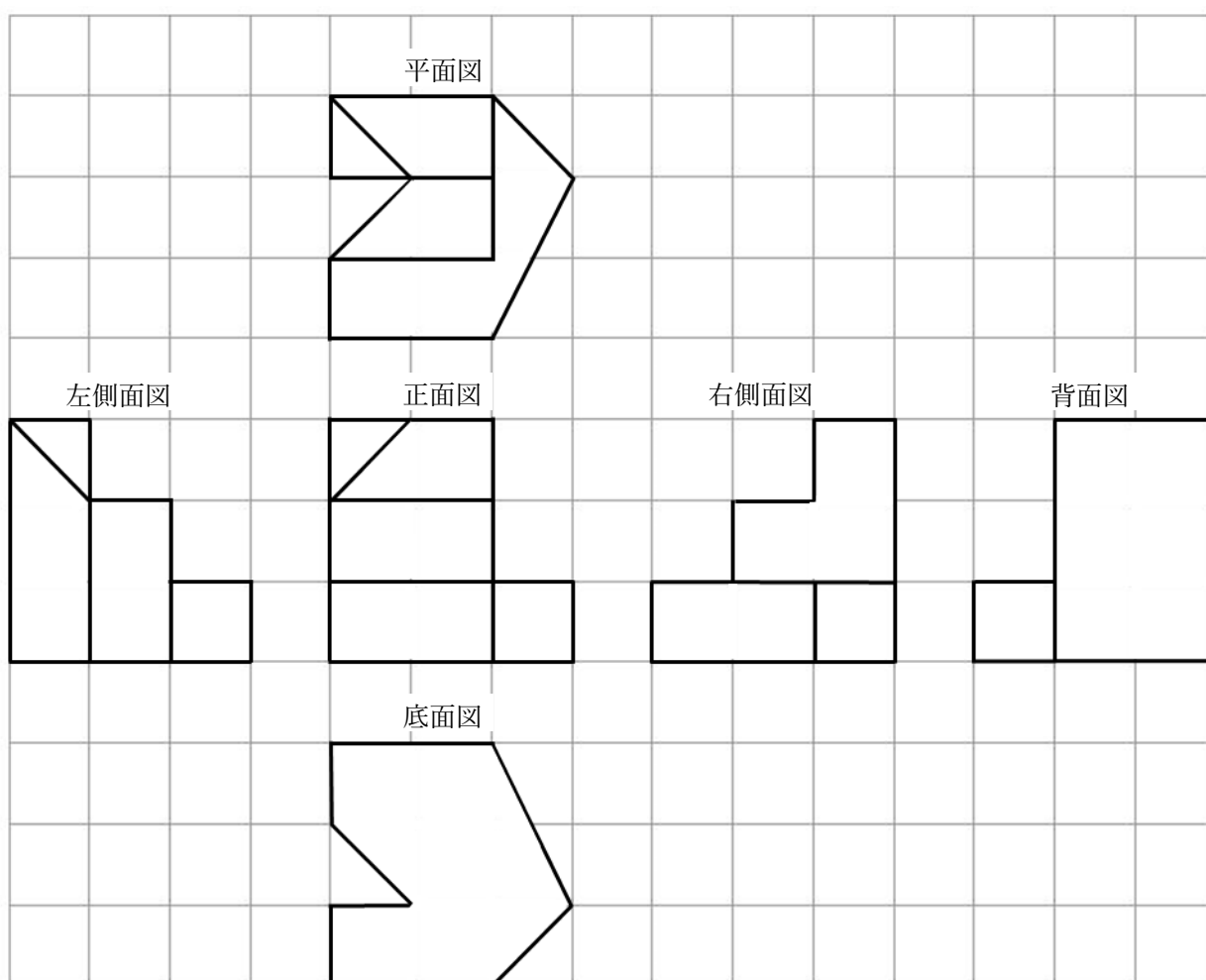


〔No. 3〕

図のように六面図が表される立体Aの凹凸と隙間なく組み合わせて立方体となる立体を立体Bとする。「立体Bの左側面，底面及び背面を表す斜視図」を，（例）に倣い，等角投影図法を用いて作成しなさい。

なお，立体Bの左側面，底面及び背面は，それぞれ，立体Aと組み合わせたときに立体Aの左側面，底面及び背面と同じ向きの面とする。また，各図の実線は立体の稜線を表し，立体A及び立体Bには模様及び曲面はないものとする。

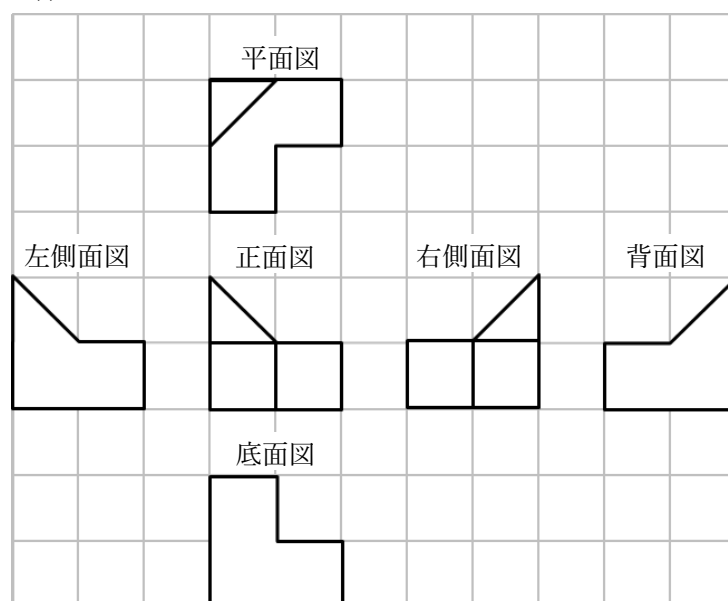
立体A



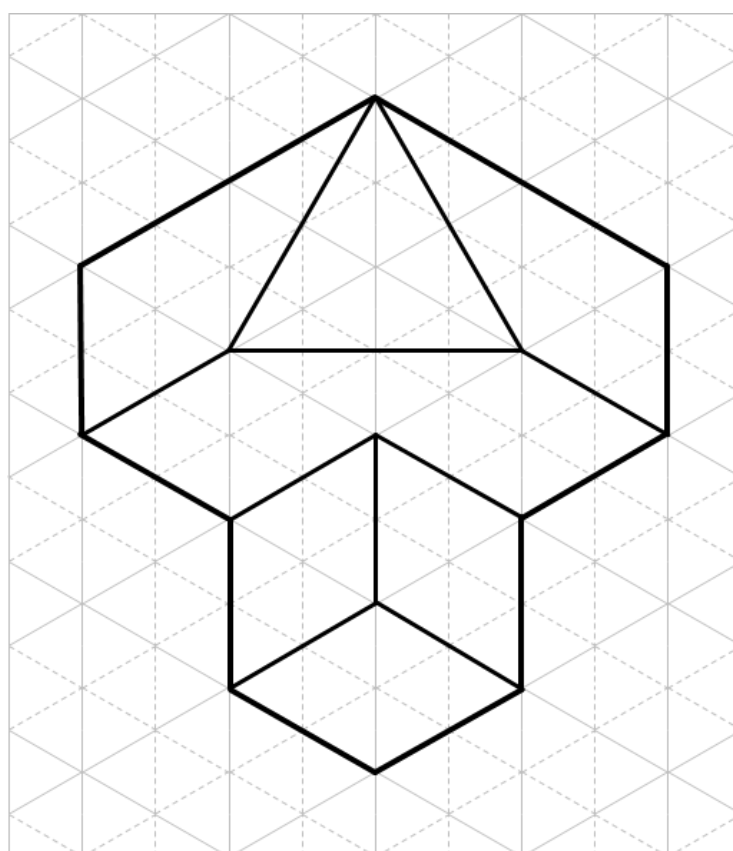
〔No. 3〕

(例)

立体ア



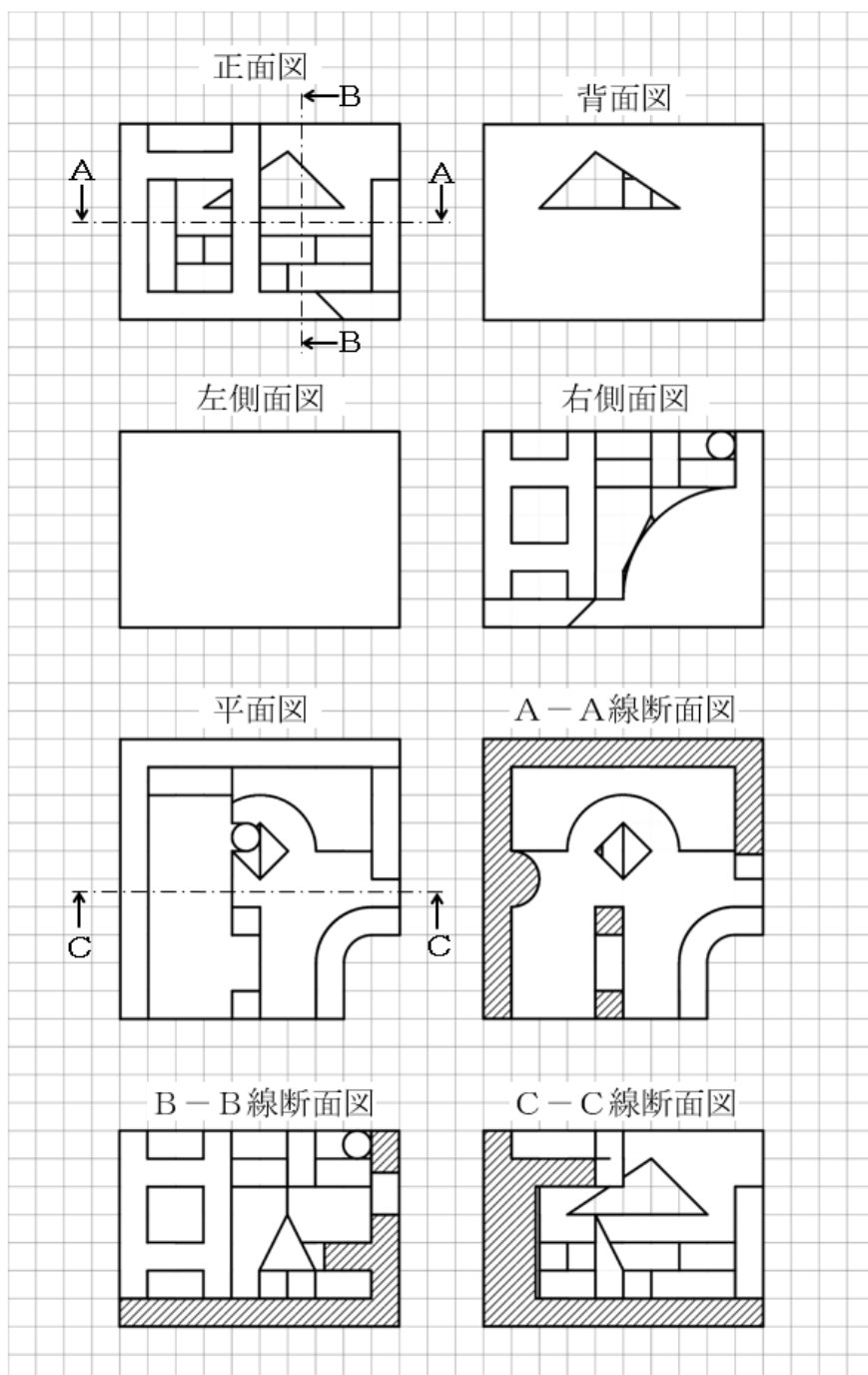
立体アの凹凸と隙間なく組み合わせて立方体となる立体イの
左側面，底面及び背面を表す斜視図



〔No. 4〕

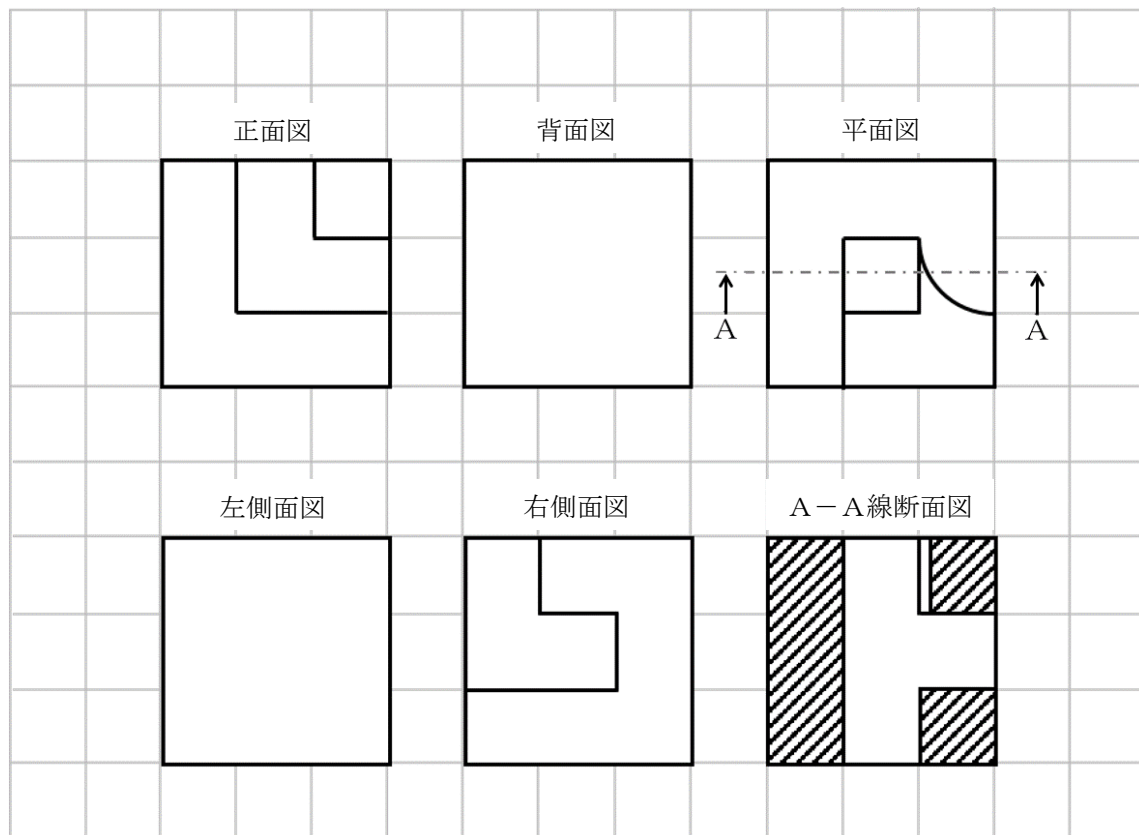
図のように六面図，A－A線断面図，B－B線断面図及びC－C線断面図によって表される立体の「正面，平面及び右側面を表す斜視図」を，（例）に倣い，等角投影図法を用いて作成しなさい。

なお，各図の実線は立体の稜線を表し，この立体には模様はないものとする。

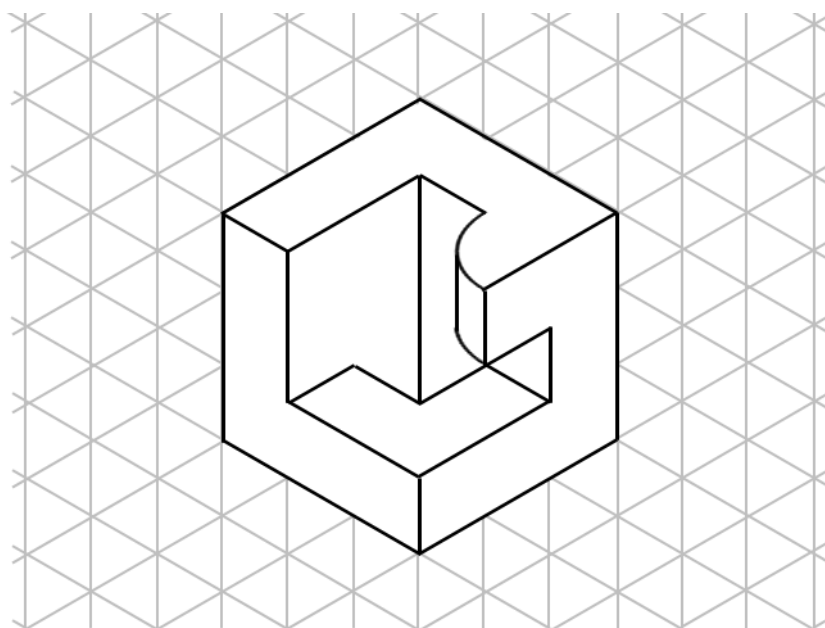


[No. 4]

(例)

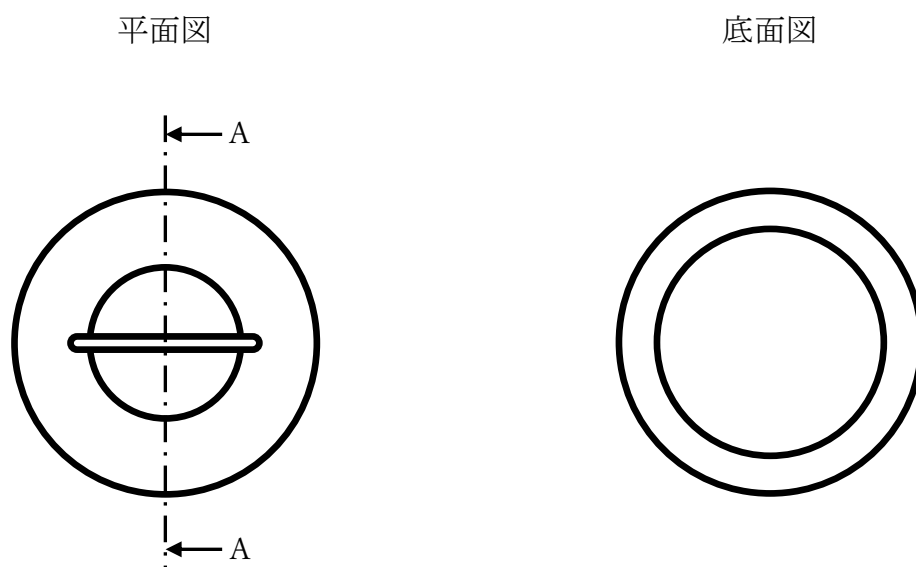


「正面，平面及び右側面を表す斜視



〔No. 5〕

平面図及び底面図がそれぞれ図のように表される，持ち運んで使用する照明器具の立体形状を自由に想起し，その立体の正面図，右側面図，A－A線断面図及び斜視図を，（例）に倣ってそれぞれ作成しなさい。また，その照明器具の用途，使用場所及び発光面の箇所について文章で説明しなさい。



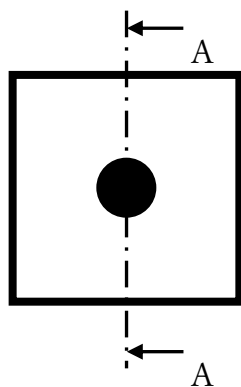
（解答に当たっての留意事項）

- ・ 平面図及び底面図における実線は，立体の稜線又は僅かな厚みを有する板状体の端面のいずれかを表すものとする。
- ・ A－A線断面図を描画する際，切断面には斜線（ハッチング）を記載すること。
- ・ A－A線断面図を描画する際，内部機構は省略してよい。
- ・ 斜視図を描画する際に用いる図法は任意とする。斜視図は照明器具の特徴が表れる面を含めて描画すること。
- ・ 電源ボタン，電源コード，端子，電池・バッテリーの格納部の蓋は省略してよい。
- ・ 光源はLEDとする。発光面は透光度の低い材質とし，LED等の内部機構が透けて見えないように記載すること。
- ・ 各図の解答欄の余白に，文言による補足説明を記載してもよい。

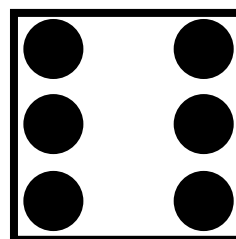
[No. 5]

(例)

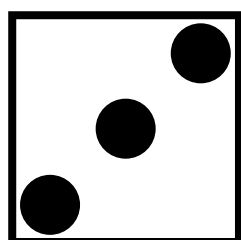
平面図



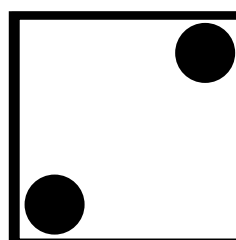
底面図



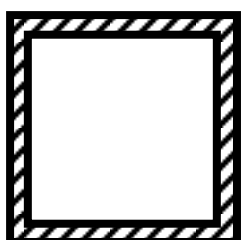
正面図



右側面図



A-A線断面図



斜視図

